

「匂い」「臭い」はニュアンスが変わってしまっているので、ひらがなを使っています。

●月●日

■●保育園

## におい(香り)の強いものの使用に関して 保護者の皆さまにお願い

園で過ごすお子さまたちの健康と環境に関連して、保護者の皆さまにお願いいたします。

におい(香り)の強い柔軟剤や消臭剤(香りでおいを消すタイプ)、アロマ類は、お子さんの衣服や持ち物にはお使いにならないでください。タバコのにおいにもお気をつけください。

乳児の嗅覚はおとな並み、またはそれ以上に鋭いことがわかっています。小さな子どもたちは、「なじみのあるにおい」を嗅ぎ分けることで自分にとって安心できる人や環境を認識するためです。「強いにおい」「違うにおい」は子どもに不快感や不安を引き起こします。

また最近では、「**香害**」と言われるように、

ゴシック体にする+赤字=特に目立つ

**柔軟剤や香水などに含まれる化学物質や揮発性物質が体調不良につながるという問題**も指摘されています。幼児であれば「このにおい、嫌い」と言えるかもしれませんが、乳児は判断も表現もできません。また、アロマオイルのようなものは「自然だから大丈夫」と思われがちですが、特定のアロマのにおいに頭痛や吐き気を起こす人はおり、子どもでも可能性はあります。体調不良を訴えることができない年齢のお子さんの場合、においが原因であることがわからず、症状を悪化させてしまうこともありえます。

園は、子どもたちが集団で過ごす場所です。他のお子さんにもご配慮いただき、におい(香り)の強い柔軟剤、香りでおいを消すタイプの消臭剤、アロマオイル類(例:虫忌避用のテープ)などはお使いにならないでください。また、ご家族のタバコのにおいがお子さんの着替え等に移っている場合もあります。園の環境として「これはにおいが強い」と思った時は、保育者からお声がけさせていただきます。

他にもあれば足してください。

園では、子どもたちの五感を育てるため、さまざまな工夫をしています。たとえば、食事の味つけを薄くするのは、子どもの味覚を育てるためです。さまざまなにおいを感じられる子どもを育てるため、よろしくお願ひいたします。

お尋ね、ご意見などございましたら、いつでもお声がけください。

必須の締め言葉。「そう思っていた」という声が出てくる可能性も。